

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

ファクト > Fukui advanced companies' try

【特集】 福井の女性活躍
～それぞれの分野で輝く
女性のチカラ～



vol. 12

福井の女性活躍

～それぞれの分野で輝く女性のチカラ～



執筆者 **塚本 利幸** 氏
 福井県立大学 看護福祉学部/社会福祉学科 准教授
 社会学、社会調査を専門とし、社会環境や女性の社会進出についてなど、福井県をフィールドにした調査・研究を進める。
 日本ジェンダー学会常務理事、福井県男女共同参画審議会委員 等
 著書には「男女共同参画の実践 少子高齢社会への戦略」「実践・職場のメンタルヘルス—地方自治体と大学との協働—」などがある。

女性の就業率・共働き率ともに全国1位の福井県。経営者からパートタイマーまで、多くの女性がいきいきと活躍しています。女性のチカラを上手く活かし、経営に役立っている企業はどのような考えで、どのような工夫をしているのでしょうか？さまざまな立場からの意見をインタビューしてきました。貴社で活かせるヒントを見つけてください。

ウーマノミクスと世界の常識

少子高齢化による労働力不足やマーケットの縮小を打開する切り札として、ウーマノミクス（女性の労働参加と活躍促進）が提唱されています。こうした発想は、安倍内閣の独創というわけではなく、平成24年のOECDレポートでも、日本経済再生の鍵として、男女格差の是正と女性の活用が提言されています。同様の指摘は、世界経済フォーラムでも繰り返されています。ウーマノミクスの取り組みは、世界の常識によくやく日本も追いついたことを示しています。

注目される福井モデル

日本は、合計特殊出生率（女性が一生の間に産む子供の数）も、世界最低レベルです。女性にバリバリ働いてもらいたいのが、政府の本音でしょう。そこで、福井モデルが注目を集めることになりました。福井は、女性の労働力率が高く、共働き世帯の割合が日本一（平成22年の国勢

調査で36%と全国平均を10ポイント以上も上回る）です。その一方で、合計特殊出生率も低くはありません。日本一とはいきませんが、近年は、全国5、6位あたりで推移しています。女性の労働参加と出産・育児の両立という日本の目指すべき方向を先取りしているのが福井なのです。

共働き率日本一の秘密

福井モデルを根底で支えているのが、産業や雇用の構造です。福井は人口当たりの社長輩出数が多いことでも有名ですが、これは中小の事業所が沢山あることを意味しています。第2次産業従事者の割合の高さも特徴です。福井は労働集約性の高い産業構造になっており、他の地方に比べて働く場所が豊富です。そのため、失業率でも、有効求人倍率でも、東京に引けを取らない優等生です。一方で、中小企業が多いので、残念ながら賃金水準は全国平均を下回ります。賃金水準の低さは女性を労働力市場に押し出し、働く場所の豊富さはその受け皿として機能します。2つの

女性の就労と出産・子育て両立の秘密

福井で、なぜ女性の就労と出産・子育ての両立が可能なのかを解く鍵は、充実した子育て支援と福井の立地にあります。福井県の少子化対策、子育て支援の取り組みは多岐にわたり、ライフステージごとに、きめ細かく、途切れなく実施されています。「ふくい3人っ子応援プロジェクト」、「子育てマイスター地域活動推進事業」、「すみずみ子育てサポート事業」、など枚挙にいとまがありません。行政による手厚い施策に加え、

女性の就労と出産・子育ての両立を支えているのが、三世代近居の居住パターンです。大都市圏から遠からず近からずの絶妙な立地が福井の特徴です。大都市圏に近すぎると、ベッドタウン化による人口流入に、逆に、遠すぎると、産業の空洞化による人口流出に、見舞われます。福井は、2つの大都市圏から半径200km圏内に位置することで、人口転入率、転出率がともに低く（平成20年の社会・人口統計（総務省）で、いずれも44位）、定住性の高い地域になっています。福井で、三世代同居や三世代近居がめずらしくないのは、人口移動の少なさの賜物です。

福井は数少ない待機児童0の自治体ですが、子どもを保育施設に預けることができたとしても、それだけで就労と子育ての両立が可能になるわけではありません。子どもの急病や通院、親の急病、残業や出張など、不測の事態に臨機応変に対処できるかが、分かれます。ここで強みを発揮するのが、三世代同居の居住パターンです。子育て世代から見て親世代（子供

から見れば祖父母）が、元気で育児支援にやぶさかでない、東京と九州に別れて暮らしていたのでは、保育所への送迎のピンチヒッターを頼めません。近居による親世代からの育児支援の受けやすさは、大きな利点です。ちょっとした融通が利くかどうか、積み重なり、仕事の継続の可否という大きな違いに結びつきがちです。

福井モデルの課題

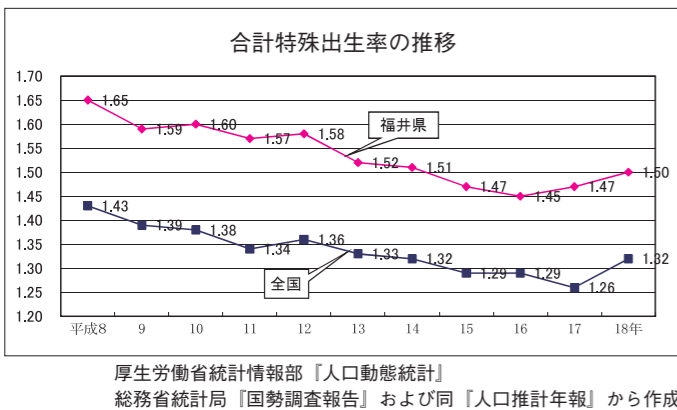
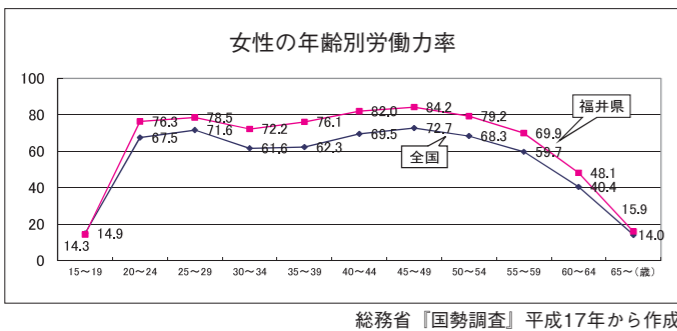
福井に課題があるとすれば、女性管理職割合の低さ（平成22年の国勢調査では11%で全国41位）でしょう。福井で女性管理職が少ない理由と、全国で女性が仕事と出産・子育てを両立しにくい理由は、根本的には同じだと考えられます。それは育児の最終責任が女性にあるという考え方が育つ。育児に積極的な男性はイクメンと称賛されますが、多くの場合「育児に協力的な夫」止まりで、最終責任を女性と分け合うにはいたりません。女性に「だけ」育児の最終責任が負わされている限り、育児と働き方の折り合いをつけ

課題の解決に向けて

課題の解決に向けてどんな取り組みが重要でしょうか。逆説的に聞こえるかもしれませんが、男性の働き方を変えること、男性の働き方を変えること、実施した「男女共同参画に関する意識調査」から、面白いことが分かっています。「男は仕事、女は家庭」という考え方に、賛成でも反対でも女性の家事・育児の実施頻度は、あまり影響を受けません。女性に最終責任が課されている以上、男性に分担の意志が

ないなら、結局、女性がやるしかないという現状の表れです。これに対して、性別役割分業に否定的な男性は、積極的に家事・育児を実施する傾向がみられます。男性が変わらなければ、女性の多重負担は解消されません。さらに、性別役割分業に否定的な男性の場合、就労時間が短いほど、食事の後かたづけや掃除の実施頻度が高くなります。逆に言えば、男性側に分担の意志があっても、長時間労働に縛られているのは、限界があると

いうことでしょうか。福井県は、「家族ふれあいデー」の普及活動、「父親子育て応援企業」の表彰、「家事チャレンジ検定」の実施、など、男性の意識改革、家事分担の促進、家族時間の伸長に向けた働きかけを進めています。それに呼応する企業サイドの取り組みとして、女性が活躍できる環境の整備に加えて、男性にも育児責任が担えるファミリーフレンドリーな働き方の導入が期待されます。



CONTENTS

01 特集 福井の女性活躍
 ～それぞれの分野で輝く女性のチカラ～
 ・イントロダクション 寄稿：塚本 利幸 氏
 ・企業事例 吉田酒造(株)/揚原織物工業(株)/ 磯しばな(株)/アルソア幸樹
 ・未来きりプログラム
 ・子育てモデル企業 ㈱ハシノメディカル/福井山田化学工業(株)
 ・ふくい女性活躍支援センター

13 完成への道のり 越前九頭龍舞
 15 若手のチカラ ㈱大津屋
 17 飛躍する経営者たち 天谷 成作 氏 ㈱リホーム
 18 グッドデザインシンキング
 19 今月の社是
 20 インフォメーション 他

吉田酒造有限会社
 所在地：吉田郡永平寺町北島7-22
 電話番号：0776-64-2015
 代表者：吉田 由香里氏
 資本金：800万円
 従業員数：10名
 事業内容：清酒製造および小売



こだわりの酒米づくり。社長、蔵人など全員で手塩にかけて作ります。



低アルコールの炭酸入り日本酒「ドラゴンキス」。女性に人気です。

酒蔵／女性経営者

昔は女人禁制だった酒蔵で女性社長として幅広く活躍

吉田酒造有限会社

文化3（1806）年から伝わる『白龍』銘柄の酒造りを200年以上守り伝えてきた吉田酒造有限会社。酒造好適米の最高峰と言われる山田錦を自社栽培し、米作りから酒造りまで手がける「地酒一貫造り」にこだわっています。2年前に前社長の吉田智彦氏が会長に就任すると、その後を受け、奥様の由香里氏が代表取締役社長に就任。女人禁制の風習があり、長く男社会だった酒造りの現場で活躍する吉田氏に話を伺いました。

小さな自社栽培の山田錦を活かし、アルコール度数12〜13度という低アルコールの酒造りに挑戦しました。甘い味わいや炭酸の入り方など試行錯誤を重ね、ロゴマークやパッケージ、リーフレットのデザイン&イラストなども女性をイメージしたものを制作。発売以来、お洒落で気軽に楽しめる日本酒として、女性から高い支持を集めています。「正統派の大吟醸の品質を守る」と、技術を磨く新商品に挑戦すること、どちらも大事。いろんな工夫を施していくことで、日本酒という伝統産業を未来につなげていくのかなと思っています」と語ります。

「地酒一貫造り」を掲げ 旨い地酒を国内外に発信

福井県内の地酒の蔵元は、全部で33蔵。そのうち3蔵は、女性が社長を務めています。「でもね、日本酒はおいしいからお客さまが選んでくださるもの。後から『女性の社長だったんですね』と驚かれることはありますが、基本的に男女はあまり関係ないんですよ」と吉田氏は語ります。

「旨い酒造りは良い米作りから」という信念を掲げる同社。地元で作られる完全熟成堆肥の有機肥料を使い、歳月をかけて土壌改良を重ね、高品質な山田錦の自社栽培に成功しました。今後、近隣農家と作付けの仕方を共有していくなど、地域と連携した酒米作りを目指しています。

また、杜氏を仕込みの期間だけの契約ではなく、社員として年間雇用しているのも同社の大きな特徴です。杜氏の井尾光洋氏は、吉田氏の社長就任と同時期に入社。蔵人と一緒に冬は酒蔵で酒造り、夏は田んぼで酒米作りに励んでいます。

吉田氏はそうした「地酒一

女性が活躍するためには受け入れる男性が不可欠

伝統的な日本酒造りの世界で、「社長の仕事は、最終的に決断し、責任を負うこと。女性であることに甘えず、きちんとしていかなないとダメですね」と姿勢を正す吉田氏。その重責を支えるもののひとつに、全国の蔵元の女性達が見聞交換をする場として始まった「蔵女性サミット」があります。

「酒蔵の仕事は、男も女も同じ。杜氏として活躍している女性の方もいるのですが、昼夜を問わない作業に苦労されています。酒蔵で働く女性ならではの悩みや苦労を語り、みんな頑張っている」とあって励まされています。

古い風習から長い間 女人禁制だった酒蔵で、多くの女性が活躍する時代。日本酒を愛好する女性消費者も徐々に増え、女性の視点を活かした取り組みがますます期待されています。こうした酒造業界の画期的な変化に欠かせなかったのが、「女性を受け入れる男性の存在」と吉田氏は

貫造り」の信念を理解してくれる小売店を探し、首都圏をはじめ全国で営業活動を展開。15年前に始めたインターネット販売も好調で、海外への輸出も伸び、現在、イギリスや中国など世界中に「白龍」ファンが広がっています。

女性を対象に、お洒落な低アルコール商品を開発

吉田氏は営業活動だけに留まらず、商品開発にも積極的に取り組んでいます。その代表作とも言えるのが、2年前に開発した発泡性清酒「ドラゴンキス」です。

「日本酒の酒蔵見学や飲み比べのイベントなどに行くと、けっこう女性の方が来られているんです。そこで若い女性でも気軽に手に取ってもらえて、飲みやすいものを作れないかと考えました」

目指したのは、低アルコールで、シャンパンのような炭酸が入った日本酒です。井尾杜氏と一緒に、通常の仕込みでは規定外となってしまう粒の語ります。「男女を平等に受け入れてくれる男性がいないと、女性の活躍はない」と断言。伝統と変化をミックスさせた同社の酒造りの姿勢は、そのまま男女が共に笑顔で働くことのできる環境づくりを物語っているようでした。



全国から「白龍」ファンが蔵見学に来るとのこと。



吉田 由香里氏



「和醸良酒」の心で造られる「白龍」は世界中の人の心をつかんでいます。九頭竜川の恵みに感謝し、ブランドのシンボルとしてドラゴンのイラストが描かれています。

揚原織物工業株式会社
 http://agehara.jp/
 所在地：鯖江市有定町1-3-26
 電話番号：0778-52-7333
 代表者：揚原 一郎氏
 資本金：5000万円
 従業員数：112名
 事業内容：各種ベルベット製織ならびに染色

社員から「遠慮なく休みを取ってほしい」と声掛けしているとのことでした。

ほかにも同社は、女性が力を発揮し、長く働ける職場を目指し、さまざまな取り組みを行っています。例えば、生産現場のリーダーである班長職には女性を2人登用。現在、時短制度を利用中の佐々木氏は「女性の班長がいることで女性ならではの事情を話しやすい」としたうえで、「自分が知る限り、妊娠・出産を機に退職した同僚はいないのでは」と話します。

女性用トイレや食堂のリニューアルなど、ハード面でも女性が働きやすい環境づくり



繊維業／女性社員

女性のライフステージに
合わせ制度拡充

揚原織物工業株式会社

女性の能力活用に取り組む企業の一つ、鯖江市にある揚原織物工業株式会社の事例を紹介します。昭和9年設立の同社は、この20年ほどで育児休業・介護休業制度、配偶者出産時特別休暇などを制定。社員の制度活用を積極的に後押ししています。制度づくりの背景と現状について、取締役の揚原邦弘氏と、過去に2回制度を活用された佐々木真梨恵氏に伺いました。

「繊維業には女性が不可欠」
社員ニーズ拾い制度拡充

同社の取り組みは平成5年に開始。社員の6割以上が女性という構成を背景に、育児休業制度を皮切りに女性活用の仕組みづくりがスタートしました。

揚原氏は「繊維業は女性の存在なしには成り立たない産業」としたうえで、同社特有の事情をこう説明します。

「当社はビロードなど特殊な生地を自社の設備で製造しています。技術習得に年数がかかるため、会社としては社員にできるだけ長く働き続けてほしいという考えがあります」

制度活用が盛んになり始めたのは10年ほど前。団塊の世代が一斉に定年を迎える「2007年問題」の到来を踏まえ、若い世代の積極採用を進めたことが契機となりました。佐々木氏もそのころ中途入社した女性の一人です。

「入社後に結婚と出産を経験し、実際に制度を活用することができました。時短勤務でも給与の減額がないことなど、友人からも制度の充実ぶ

りをほめてもらうことが多いです」と話します。

もっとも、初めから制度の肉付けができていたわけではなかったと揚原氏。「社員のニーズを拾い上げ手探りで見直しを続けています。他社の事例を参考にというより、自社の社員にとって使いやすい制度を整えています。近年では男性社員の育休制度活用も見られるようになったとい

声掛けで心理的負担軽減
女性課長誕生に向け準備も

行政の後押しもあり、育休や時短などの制度を整備する企業が増えていきます。しかし中小企業の場合、制度導入による人員配置の困難さから二の足を踏むケースも少なくないようです。

その点を揚原氏に尋ねると「あくまで当社の話ですが、制度導入による人員配置の増減より市場に合わせた生産調整の方が、ぶれ」の要素としては大きい」との答え。休日取得や時短申請にかかる社員の心理的負担をなくそうと、結婚・妊娠した社員には幹部

を進行中。「女性向け商材を扱いながら課長に女性がいない」と、同社初となる女性課長誕生に向けての準備も進んでいるそうです。

厚生大臣認定マークで
人材採用活動も有利に

こうした取り組みが社会的評価にもつながり、平成25年度には内閣府「子どもと家族・若者応援団」内閣府特命担当大臣（子育て・家族支援部門）表彰を受賞しました。

「当社では高卒の採用も多



製品の検品作業の様子。ベルベット特有の難しさがあるとのこと。

いのですが、就職活動をする高校生の親御さんが当社を推してくださるのを実感しています。自分が子育て世代だったころ、仕事と育児の両立で大変だったからではないでしょうか」と揚原氏。厚生労働大臣認定の「子育てサポート企業」に与えられる「くるみんマーク」も、人材採用活動のうえで有利に働いているようです。

「育休・時短制度を使った社員の子どもたちが小学校に入る年代になりつつあります。入学に伴い社員の生活リ

ズムも変わるので、実情に即して制度の肉付けを図りたい」とブラッシュアップに余念がありません。

社員のニーズやライフステージに合わせ福利厚生面の拡充を進める同社。高齢化社会の急速な進行を踏まえた介護休業制度活用の後押しも急務と考えています。「プライベートが充実して初めて仕事も充実する。公私の両輪がうまく回れば、本人にも会社のための効用につながる」。揚原氏は拡充した。



明るく健康的なイメージにリフォームされた社員食堂。女性社員からの評判も上々です。



写真の本社工場の他、鯖江市内3箇所に工場を展開する同社。



佐々木 真梨恵氏



揚原 邦弘氏



サロンオーナー 雁子 由佳理 氏

美容業界／経営者 アルソア幸樹（さちのき）

笑顔で女性を輝かせる 魅力を引き出すセミナーを

高校を卒業後、敦賀市内の企業で勤めていた雁子氏。以前からあった「自分のお店を持ちたい」という夢を叶えるべく、7年間勤めた会社を辞めることを決意します。それまでの人との出会いを活かし、周囲の助けのなかで、当時最年少の25歳でアルソア化粧品店のオーナーとなります。化粧品の販売だけでなく、ビューティープランデザイナーとして、美に関する様々なイベントの企画・運営を行っている同氏にお話を伺いました。

周囲の協力を引き寄せる 実体験を外へ発信

25歳の若さでサロンオーナーとなった雁子氏。美容に関する専門知識もなく、それまでの7年間は普通のOLとして働いていた同氏がお店を出すことができた理由を、ご自身はどのように話します。

「自分が女性で当時若かったこともあり、周囲の方々からいろいろと手助けをしていただいたり、教えていただいたりしました。それを素直に聞くことができたこと、そして、できるだけ笑顔でいることを心掛けていたことがここまで来られた要因だと思っています。それだけで人との距離が縮むことをそのとき実感しました」

雁子氏の人柄が縁を繋ぎ、周りからの紹介で顧客を増やす中、自身も皮膚生理学や健康学を学び、カラーコーディネーターやメイクアップクリエーターなどの資格も取得し、

建設・造園業／女性社員 株式会社しばなか

業態の変化に女性のチカラで対応 柔軟な社内制度づくり

造園、エクステリアの設計施工を専門とする同社。建設に関わる業界の中では女性の割合が高く、社員25人中7人が女性です。内5人がガーデンプランナーとして幅広い業務をこなし、営業の第一線で活躍。同社の、女性が働きやすい環境づくりへの取り組みは、県の「ふくい女性活躍支援企業」や「子育てモデル企業」の認定を受けるなど、高く評価されています。代表の中村潤一氏にお話を伺いました。

公共工事から個人向けに転換 女性が活躍する現場

以前は公共事業をメインに仕事を請け負っていた同社。近年、公共事業が減少する中で徐々に一般住宅向けの外構工事に軸足を移してきました。それまでの公共工事とは違い、各顧客それぞれの要望に対してわかりやすい提案が必要となる中で、10年前から専用の3DCADでエントランスや庭の施工イメージを作成するようになりました。CADのオペレーターやガーデンプランナーとして女性が増員されたのもその頃です。

同社では、来店された顧客に対し、ヒアリングからデザイン・設計、現場管理まで一貫してひとりのスタッフが担当します。女性社員の強みを



代表取締役 中村 潤一 氏(右) ガーデンプランナー 松原 真紀子 氏(左)

社員各々の現状に沿った 柔軟な制度づくり

同社では、子育て中の女性従業員の希望に応じて、フレックスタイム制度、自由選択休日制度、自宅持ち帰り残業を認めています。また比較的遠

中村氏はこう語ります。「女性ならではの、きめ細やかでやわらかい接客がお客様に喜ばれています。特に、新築外構をおしゃれにしたいと考える若いご夫婦などの場合、女性スタッフのセンスも活かされ、多くの成約につながっています。今では、女性社員が社内での営業成績トップといえます。ほとんどの女性社員が入社してからCADの使い方を学ぶという同社。「思うように使えるようになるまで3〜4年ほどかかります。時間をかけて人材を育てるため、出産や育児を理由に仕事を辞められてしまうことが、会社にとって一番の痛手になります」と中村氏。では、女性社員が長く勤めるために、どのような社内制度を整えているのでしょうか。

「職場でも家庭でも、女性が明るい笑顔でいることだけで、周囲の環境を良い方に変えられます。ここぞというときに笑顔を意識することが大切。その場の空気をコントロールする力が女性にはあるんですよ」

アルソア幸樹（さちのき）
所在地：敦賀市勘生野104-27-6
電話番号：0770-20-0303
従業員数：1名
事業内容：化粧品販売・卸



株式会社しばなか
http://www.ryokkatei.jp/
所在地：福井市高柳3丁目4707
電話番号：0120-128-372
代表者：中村 潤一 氏
資本金：2,500万円
従業員数：25名
事業内容：造園、ガーデンエクステリア、土木

安心して子育てに専念しても「いたいです」
今の段階で女性の管理職は引く張っていつてくれるポストに就いてほしいと中村氏は考えています。



仮想プロジェクト最終プレゼン1位の3班のみなさん。

「未来きらりプログラム」では実施する講座の3分の2以上の出席で1年ごとに修了証を交付しています。また、プログラムで学んだ内容を、企業に持ち帰り他の社員に伝達研修している例もあり、受講生自身の成長のみならず、女性社員のみなさんに広がっています。プログラムの修了後は、OG会「ふくい女性ネットワークNEXT」で自主的な勉強会や交流会を実施し、継続的なネットワークを構築しています。

仲野 文恵氏

3班代表 北陸電力株式会社福井支店

社内では営業・広報に携わってきました。この研修への参加は、リーダーを目指し、必要なスキルを習得したり、ネットワークを広げることに対する上司・職場のみなさんの理解と協力があってのことでした。

仮想プロジェクトでは、「自分たちが納得できるものを作ろう」とプレゼンテーションの完成に向け、各々時間を工面し、自発的なミーティングを10回以上重ねました。素敵な仲間達と言いたいことを言い合えるような信頼関係を築くことができたことが成功のカギだったように思います。

未来きらりプログラムでは、多くのことを学び、刺激を受けました。中でも、「リーダーシップはどんな立場でもとれる」「リーダーに決まった形はない」ということが印象に残っています。会社の業務の中でも、職位にかかわらず、自分の環境、立場で発揮できるリーダーシップがあることを実感しています。また、本当にいろいろなことをここで経験させていただき、以前より「相手の立場を思いやる気持ち」を持つことができるようになりました。さらに「自分から行動すること」を意識できるように変われたと感じています。

未来きらりプログラムとの出会いに心から感謝します。



阪井多美子氏

2班代表 福井県民生活協同組合

プログラム参加は上司からの勧めでした。ここ10年間は子育てに精一杯で、仕事以外で何かにチャレンジすることに自信がなかったのですが、自分を向上させるきっかけの機会と感じ参加を決めました。普段は職員教育の事務に携わっています。人材育成の知識はあったものの、今回プログラムでグループリーダーを務めたことで実感できたことはたくさんあり、実際の仕事にも活かしています。

普段の仕事とは別の出会いがあったことが何よりの収穫です。サトイモのプレゼンテーションの準備をする中で「会場全員へ試食用意しよう」といった一人では考えなかったようなアイデアも実現でき、チームで結束したことで自分の視野も広がりました。

メンバーもそうですが、働く女性の状況は同じように見えて千差万別です。プログラムを通して自分がどこに軸を置いて仕事と家庭、子育てのバランスをどうとるのか、自分にとっての仕事とは何かを見つめる良いきっかけになりました。



『未来きらりプログラム』に見る 女性リーダー育成のヒント

「未来きらりプログラム」は、女性リーダー育成を目的とした福井の女性のための体系的研修プログラムです。県内企業で働く女性が集まり、お茶の水女子大学と協力して作成・実施する研修メニューで、リーダーとしてのスキルを磨きます。プログラムに参加された女性お二人にもお話を伺ってきました。貴社の女性社員育成のヒントを見つけてください。

体系的なリーダー育成 実務に活かせる力を 身につける

女性が職場で意欲と能力を十分に発揮することは、福井の企業の活性化に必要不可欠なことです。未来きらりプログラムが目指すのは「仕事」「家庭」「ゆとり」のバランスが取れた女性リーダーを育成すること。豊富な研修実績をもつ県外講師を招き、ビジネススキルはもちろん、企画提案の実践を通してリーダーシップを身につけていきます。異業種の女性社員とのネットワークづくりや、実際の仕事に活かせる身近なハウツーなども発見でき、受講生や上司

から「仕事に対する意欲が増した」との声が寄せられています。

プログラムの前半はリーダー像を明確にするともにビジネススキルを学び、後半は企画提案を実施し、2月20日に学んだことの総括としてプレゼンテーション発表会を行いました。

同プログラムは平成24年度から実施されており、平成26年度は30名が受講、これまでに65名のリーダー候補生を育成し、その中から管理職6名、プロジェクトリーダー3名が誕生しています。

また、県では、企業内の女性を中心としたチームの活動を補助する制度を作り、前年

度は5つの企業^(※)を採択しました。5つの企業のうち、3チームでは「未来きらりプログラム」の受講生がリーダーやチーム員として活動しています。

(※)本誌vol.10内でアポットジャパン(株)山事業所の活動をご紹介します。

女性の視点で サトイモを売り込む

プログラムの特徴は後半に実施する「仮想プロジェクト」です。女性視点での新たな企画提案を実践します。受講生は最終のプレゼンテーションを含め、全5回シリーズの講義で、一つの企画提案を完成させるといふもの。平成26年度のテーマは「里芋を使ったビジネスプラン」。奥越の名産である里芋を売り出すプランを、グループワークで生み出してきました。

アイデア出しからマーケティング調査、企画立案とプレゼンテーション実践まで、実際の手順を追ってノウハウや技術を身につけていきます。5つのグループに分かれ、そ

れぞれがオリジナリティあふれるプランを完成させました。最終プレゼンで見事1位、2位に輝いたグループの代表者に、1年間の活動についてインタビューしてきました。



平成27年度カリキュラム

- | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 2月 | 1月 | 12月 | 11月 | 10月 | 9月 | 8月 | 7月 | 6月 | 5月 | 4月 |
| ・仮想プロジェクト発表
プレゼンテーション発表 | ・仮想プロジェクト発表
プレゼンテーション発表 | ・仮想プロジェクト発表
プレゼンテーション発表 | ・仮想プロジェクト発表
プレゼンテーション発表 | ・仮想プロジェクト発表
プレゼンテーション発表 | ・仮想プロジェクト発表
プレゼンテーション発表 | ・仮想プロジェクト発表
プレゼンテーション発表 | ・仮想プロジェクト発表
プレゼンテーション発表 | ・仮想プロジェクト発表
プレゼンテーション発表 | ・仮想プロジェクト発表
プレゼンテーション発表 | ・仮想プロジェクト発表
プレゼンテーション発表 |

〈お問い合わせ〉
福井県 総務部 男女参画・県民活動課
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
TEL: 0776-20-0319
FAX: 0776-20-0632
E-mail: danjoken@pref.fukui.lg.jp

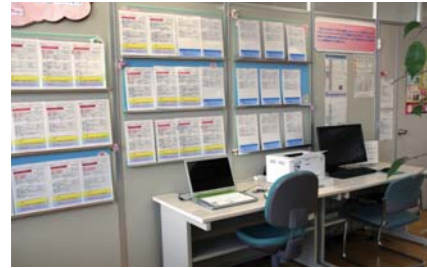
あなたの“働きたい！”を応援します

『ふくい女性活躍支援センター』のご紹介

ふくい女性活躍支援センターは、女性のキャリアづくりを支援するためのセンターです。仕事についての不安解消やキャリアアップの支援、子育てが一段落した女性の再就職、育児休業からの円滑な復帰などの支援をワンストップで行っています。また、3月からは職業紹介も始めました。キッズコーナーやベビーカーを置ける広いスペースもあり、お子様連れでも気軽にお立ち寄りいただけます。主な3つの相談について、担当者にお話を伺いました。



① 職業相談・紹介



- ・ハローワークの求人情報をもとに、仕事探しを丁寧にサポート
- ・相談、求職票の受理、紹介状の交付、就職後のフォローまで支援
- ・履歴書などの書き方のポイント指導や、模擬面接の実践まで…

【担当：櫻井氏、吉村氏より】

土日祝日も利用でき、子育て中の女性にも多くご利用いただいています。希望にあった求人について、具体的な仕事の内容や職場の雰囲気のほか、事業所の求める人物像など、実際に事業所を訪問した生の情報をお伝えしています。例えばパソコンスキルは仕事によって必要な技量が異なります。就業後のミスマッチがないように詳しい情報提供を心掛けています。

② キャリア相談



- ・キャリアコンサルタントによる働き方に関する悩み相談
- ・どうしたら自分らしいキャリアを築けるかを考えます
- ・「キャリアカルテ」をもとに個別の面談や情報提供を行います

【担当：松岡氏より】

「私にはどんな仕事に向いているのか分からない」「もっとキャリアアップしたいけれど、どうすればいいの」など、仕事に関する不安や悩みを解消し、自分らしいキャリアを築くための方策を一緒に考え、その実現に向け、お手伝いします。また、起業したい方には、これまでの経験や得意なことを活かして第一歩が踏み出せるよう支援します。

③ 保育所・子育て相談



- ・保育所探しのお手伝いや、育休からの復帰時のお悩み相談
- ・県内の認定こども園・保育所・幼稚園のパンフレットをそろえています
- ・保育コンシェルジュが保育士の経験を活かしてお答えします

【担当：五十嵐氏より】

育児休業からの職場復帰や育児が一段落し再就職を考えている方に保育所や幼稚園をご紹介します。県内の認定こども園・保育所・幼稚園のパンフレットをそろえ、希望にあった保育所探しをお手伝いします。また、仕事と子育ての両立や子育ての悩みのご相談にお答えしています。

ふくい女性活躍支援センター

福井市下六条町 14-1 生活学習館(ユニー・アイふくい)2階
tel.0776-41-4244 http://www.f-jhosei.or.jp

登録料・会費は無料!
LADY GO 女性のキャリアづくりに役立つ情報をメールマガジンでお知らせしています。

lady-go-fukui@pref.fukui.lg.jp

こちらのアドレスに、「お名前」、「ご連絡先」、「送付先のアドレス」をお知らせください。

※ホームページに掲載している。お問い合わせは、催し物の案内以外には利用いたしません。

時間 9:00~16:45

定休日 月曜、第3日曜日、祝日の翌日、年末年始

- ◆フレンドリーバス 30分間隔で運行
福井駅前(5番のりば)、またはアオッサ前「生活学習館前」下車 無料
- ◆京福バス(羽水高校線・西大味線)
福井駅前(9番のりば)より「厚生病院前(または県産業会館前)」下車



(公財)ふくい産業支援センターでも4月から、女性のための創業・相談窓口を開設しています。詳しくはP20インフォメーションまで

貴社も「企業子宝率」調査に参加してみませんか?

子育てモデル企業のご紹介

福井県では、従業員の子どもが多い企業は、子育て支援に理解があり、従業員が子育てしやすい職場環境にあると考えています。そこで考案者である渥美由喜氏の許可を得て、平成23年度から全国に先駆け、「企業の合計特殊子宝率(愛称:企業子宝率)」の調査を実施。従業員の子育て支援に力を入れる企業を積極的に評価して、女性の活躍を支援しています。これまでに34社が「子育てモデル企業」の認定を受けています。貴社も企業子宝率調査に参加して、子育てモデル企業認定を目指してみませんか。



企業子宝率とは?

企業の従業員(男女問わず)が当該企業に在職中にもつことが見込まれる子どもの数のことです。

子育てモデル企業への支援

- ①認定マーク(ホームページ用バナー)の使用
- ②福井県の補助事業等選定における加点、県融資制度における優遇等
- ③従業員向けに恐竜博物館など県文化施設無料入場券を贈呈
- ④「子育てモデル企業」として、県が広く県内外に広報

(株)ハシノメディカル

福井市町屋3丁目12-12
TEL: 0776-24-4639
HP: http://www.hashino-medical.co.jp/
代表取締役社長 端野 一成氏



当社は46名の女性社員が活躍する中、女性が長く働ける環境づくりに努めており、2008年以降、産休育休からの復帰率100%を達成しています。働きやすさのために、男女それぞれの適性に合った人員配置をするよう、また、産休育休などで数カ月間人手が減ることも見越して、お互いに業務をシェアできるよう、手厚い人事を心掛けています。一見非効率とも取れますが、それまでの教育にかけたコストや労力を考えると、社員が辞めてしまうことが一番の損失です。

当社での取組み例としては、3人のお子さんを育てながら働いてくれている女性を成功事例として取り上げ、必要に応じて、その都度お休みも取ってもらうことで、「それが普通」という企業風土の形成につながったと思います。福井県は待機児童ゼロと子育てには良い環境です。それを活かすのも企業次第ではないでしょうか。



私たちは平成26年度「子育てモデル企業」に認定されました

福井山田化学工業(株)

坂井市三国町米納津49-111-1
TEL: 0776-82-6000
HP: http://www.fukuiyamadachem.co.jp/
管理部 環境総務課 高嶋 善郎氏

当社は昔から自分の事は自分ですという企業風土です。昔から休憩中に男性の上司にお茶出しをするような習慣もありませんし、今もありません。男性社員であっても「子どもを病院に連れていくので休暇をとります」ということもあります。男女を問わず休みを取得しやすい環境です。社員数が少ないことでコミュニケーションが良く、お互いが家庭の事情を良く分かっていることも休暇を取得しやすい環境になっている要因と思います。

当社の女性社員は正社員、契約社員の隔てなく、出産をした女性は育休を取得し、仕事に復帰しています。「仕事と子育てのバランス」がとれるよう会社も取り組んできました。学校への就職説明会でも反応は上々です。認定をいただいたことで、さらに当社の労働環境の良さをアピールできればと思っております。



《上記以外の平成26年度認定企業》

(福)九頭竜厚生事業団	コマツサービスエース(株)
(株)サンワコン	(株)住まい工房
ネットトヨタ福井(株)	(医)林病院
(株)福井信越石英	福井信用金庫
(株)福井村田製作所	(株)福邦銀行
(有)ふらむはあとリハビリねっと	(株)ヨシケイ福井

お問い合わせ

福井県 産業労働部 労働政策課

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
TEL: 0776-20-0389
FAX: 0776-20-0648
E-mail: rousei@pref.fukui.lg.jp

完成への道のり

商品はどのようなプロセスで完成されていくのか。企業によるアイデアの創出から新商品誕生までの開発ストーリーを紹介します。

勝山育ちのこだわり米を 越前和紙で包み贈答品に

越前九頭龍舞（米）



小林 謙一氏

赤とんぼが生息する勝山の自然を米とともにアピール

『赤とんぼの舞（米）』で販売するお米は、小林氏が栽培する福井で一番新しいブランド米のあきさかりです。「20年程前に繊維の仕事をやめ、漆器などを扱う卸販売業を営んでいます。先祖の田んぼは自分でと、その間ずっと兼業で米づくりに励んでいます」と語る小林氏。以前はコシヒカリを栽培していたのですが、倒伏しにくく、福井県の奨励品種として採用されるほど美味しいことから、今はあきさかりを有機肥料使用・減農薬栽培で育てています。

『赤とんぼの舞（米）』は、そのあきさかりを2合ずつ真空パックし、長期間美味しく食べられるかたちで販売。少

量に分けるに至ったいきさつを、小林氏はこう語ります。「今、米の価格は下落し、行政は大規模農業などを掲げていますが、私たちのような小規模農家は国の補助を受けられない。付加価値を高めるため、これまでとは発想を変え、お米を主食ではなく、福井を代表するお土産や贈り物として買ってもらえたらと思ったんです。また、勝山には、全国的に激減している赤とんぼが今も多く飛び交っています。



若狭塗箸とのセット商品。祝いの場面にもぴったりな趣きです。

越前九頭龍舞（米）

所在地：勝山市北郷町檜曾谷22-22
電話・FAX：0779-89-2758
Eメール：qqxr9fd9k@leaf.ocn.ne.jp
代表者：小林 謙一氏
事業内容：漆器、雑貨・卸販売、農業

越前和紙でかわいく包装 特産品との組み合わせも

商品化にあたっては、マーケティングが大きな壁となりました。「過去にもオリジナルの商品を作った経験はあったのですが、販路がないとそこで終わってしまう。今回はそんなとき新聞で県のチャレンジ発注推進事業を知り、すぐにそれに申し込んだことが

本格的な商品づくりのきっかけとなりました」と小林氏は振り返ります。

いろいろな商品案を模索する中、ある方の講演会で「いろんな商品が氾濫している今、ユーザーへのインパクトと遊び心がなければ売れない」と聞き、老若男女問わず感動できる「かわいい」をテーマに設定。その上で、「せっかくなら、福井県の伝統工

芸品も一緒にアピールできたらいい」と考え、気品ある越前和紙の友禅模様を使用したパッケージに辿り着いたそうです。包み方など、越前和紙をより魅力あるものにした、美しいパッケージの仕上げは奥様の恵美子さんが担当。改良を重ね、付加価値の高い商品づくりを追求してきました。

越前九頭龍舞（米）では現在、ネット販売で、同じく県の伝統工芸品である若狭塗箸を合わせた高級仕様のセットなどを展開しています。組み合わせる商品選びも、小林氏のアイデアです。「もともと、いろんなことを考えるのが好きなんです。今後は美味しい三里浜の花らっきょうなど、福井の特産品とコラボして、セット販売のグレードアップを図っていききたいですね」

仲間とともに農業で潤う ビジネスモデルを目指す

『赤とんぼの舞（米）』を通して、自然豊かな福井を広く知ってもらいたいと願う小林氏。産直販売している『越前九頭龍舞（米）』では、勝山

市と大野市を総括する別称『奥越前』を米袋に表記し、白山と九頭竜川の写真で福井の自然をアピールしています。「もし商品が好評に動き出したら、自家栽培米だけでは生産が追いつかない。今後は小規模で一生懸命やっている地元奥越前エリアの農家の人たちに仲間に入っていたらいい。こんな時代でも農業をして潤うようなビジネスモデルをつくれたら」と展望を語ります。

課題の販路開拓についても、首都圏のデパートなどへ営業活動をしたり、県の貿易促進プラザでは海外販路について相談を続けたりと精力的です。また、繊維業時代や今

※ベンチャー企業等の販路開拓を支援するため、新商品などを開発したベンチャー企業等の中から一定の要件に該当する事業者を認定し、県の各機関が必要と判断する新商品等の購入を促進します。



様々な模様の越前和紙で美しくラッピングされた「赤とんぼの舞（米）」。ラベルのデザインも小林氏自ら行ったとのこと。



産直販売用の袋のデザイン。白山をバックにした九頭竜川の写真で、自然をPRします。

若手のチカラ。

このコーナーでは、若手のパワーでチャレンジを続ける会社を紹介。若い力から成長企業の元気の源を探ります。

第7回

株式会社大津屋

こだわり食材の 総菜外販事業に本格参入

**既存の製造設備を活用し
初期投資抑え新規事業へ**

「少子化に伴う人口減少を見据え、10年後の当社を支える柱を作ろうと開発を始めました」。小澤氏は、総菜外販進出の背景をそう明かしました。

販売開始は平成25年春。奥越産里芋の煮つ転がしや、越前町産厚揚げの煮付けなど、地元食材にこだわったラインナップでのスタートでした。第一弾商品に里芋を含めたのは、土産物などを扱う「これがうまいんじや大津屋」で、地元の名産品で、かつ自社で製造できる体制がありながら他社製品を取扱わざるを得なかったからと小澤氏。山内氏も「日本のお母さんの味」を代表する料理が里芋の煮つ

転がし」と言葉を添えます。

大がかりな設備投資が不要だったことも外販参入の追い風となりました。同社は以前より「オレボステーション」『オレボキッチン』など総菜店を手がけ、自社のセントラルキッチンが物流を支えていたからです。添加物不使用で保存性を高めるため、低い温度帯で長時間加熱する「高鮮度セミレトルト製法」も自社開発し、「食感や風味に変化が起きやすいレトルト製法と違い、素材本来の味わいを保つ工夫」（小澤氏）を施したといいます。

**物産展の評価で味に自信
森昌子さんのコラボも**

多くの企業が拡販にしのぎを削る総菜業界。通り一遍の

販促活動では埋もれると、歌手・森昌子さんのコラボ企画で販促に弾みを付けました。

「新曲『人生に乾杯』発売に合わせたコラボ商品の企画に応募したところ運よく採用。福井の地酒とともに、森さんの顔写真のついたコラボ商品が誕生しました」と山内氏。森さんのコンサート会場でも多くのファンが買い求めたのことで、「商品のコンセプトと、森さんの『やさしいお母さん』のイメージがぴったり合った企画でした」と笑みをこぼします。

他方で「合同展示会など、公的機関が募集する事業に応募するのが拡販の早道」と一昨年初、日本橋三越本店（東京都中央区）での物産展にも出展。総菜の量り売りをしたと



山内 かおり 氏



小澤 光信 氏



森昌子さんご自身のこだわりと同様、三温糖を使って味つけをしているそう。福井の日本酒「梵」とのコラボレーションも。

ころ、「昨日買って帰ったらおいしかったのでまた来た」との声があるほどの手応えを得ました。山内氏は「福井発の総菜がおいしいと認められたことがうれしい。共働きの高い福井では総菜にこだわる方も多く、クオリティの底上げにつながっているからでは」と話します。

**五輪で高まる和食需要
今後海外展開も視野に**

里芋の煮つ転がしについては現在、個食向けの小袋、土産用途の中袋、業務用の大袋と3タイプを展開。小袋は、首都圏の「ランチ難民」を助けるオフィス向け宅配サービス「オフィスおかん」（運営・

株式会社おかん「東京都渋谷区」にも採用。大袋はホテルや旅館などのほか、問屋を通じて有名料亭の弁当部門にも納入されています。

「和食文化を世界に」という高レベルホテルも、現状はまだコスト優先の反応が多いように感じます」と小澤氏。一方で高品質を求めるニーズは確かにあるといい、「価格だけが決め手じゃないよ、大津屋さん」との声を励みに拡販に務めたいと意気込みます。

同社の経営コンセプトは「先見力を持って市場を見つめ、潜在的な顧客のSEEDSを発見し、それを積極的に実現させることによって、地

域社会に貢献する」。10年先を見つめ、既存の社内リソースを活用して、次の一手を打つ様子は、県内初のコンビニ「オレンジBOX」1号店出店（昭和56年）と重なるものがあります。

「平成32年の東京オリンピックを控え、首都圏では和食の安定供給に対するニーズが高まっています。拡販の余地はまだあります」と小澤氏。食材にこだわりを持つ中小飲食店、富裕層向け介護施設などへの働きかけも強化する考えを示し、「最終的な目標は海外展開」と結びました。

株式会社大津屋
http://www.orebo.jp/
所在地：福井市西木田1-20-17
電話番号：0776-34-7150
代表者：小川明彦氏
資本金：5000万円
従業員数：25名
事業内容：コンビニエンスストア・総菜店運営、業務用食品製造加工、教育事業など



東京ビッグサイトで行われたスーパーマーケット・トレードショーへの出展の様子



2014年度グッドデザイン金賞受賞

脳外科手術用器具 [脳外科マイクロ剪刀]

株式会社シャルマン+福井大学



刃の切れ味とその持続性実現のための技術開発、ストレスなく操作しやすい形状、切っている感触とそのバネ持続性の重要性を臨床現場である福井大学医学部教授と何度も試作し適材適所の製品へ進化させた。メガネフレーム製造開発で培ったレーザー微細接合技術やチタン精密加工技術を駆使し4つの素材で構成、中間部にステンレス、持ち手部に超軽量な純チタン、バネ部に柔軟性に富むチタン合金を採用し、切れ味性能を高める為に高硬度特殊鋼を刃先に使用し薄刃仕様となっている。グッドデザイン賞の審査会では、審査委員とのコミュニケーションを大切に、デザインで医療機器の課題解決をすべきであると伝えた。3月から学会機器展の出展がはじまり、グッドデザイン金賞を梃子にシャルマンブランドを国内外に浸透させていきたいとのこと。

DATA

- 受賞対象名
脳外科手術用器具 [脳外科マイクロ剪刀]
- 事業主体名
(株)シャルマン
- 受賞企業
(株)シャルマン 福井大学
- 受賞番号
14G070602
- 詳細情報
<http://www.charmant-medical.com>
- 価格
140,400円(税込)
- 仕様
全長 185mm・重量 13.0g、バイオネット型

審査委員の評価

担当審査委員 | 安次富 隆 内田まほろ 重野 貴 田川欣哉

手にしたとき、その軽さとスムーズな動き、美しさに、驚きを感じた。手術時のストレス、疲労を徹底して軽減することを目的に開発されたということだが、手になじむハンドル、絶妙な弾力や動きを実現するシャフトやバネ部、切れる瞬間に衝撃のかからない刃先の処理など、練りに練られた構造とパーツの考え方、それを実現する金属精密加工技術が融合した、緻密なデザインの積み上げに、機能の信頼性はもちろんのこと、「はさみ」という道具から気迫を感じるほどである。命を預かる現場のための、一步も譲らない高品質、信頼性を体現した、極めて高いデザインと技術が形になったプロダクトであると評価する。

第1回

福井県のグッドデザインを紹介
グッドデザインシンキング

第12回

飛躍する経営者たち

福井県ゆかりのアグレッシブな経営者取材。企業を成長へと導く秘訣に迫ります。

天谷 成作 氏

●株式会社リホーム 代表取締役

新たなアイデアでEC市場を獲得 インテリアコーディネートを全国に発信

福井県産業情報センターのインキュベートルームで平成24年9月に創業したリホーム。カーテンをはじめとしたインテリア商品のネット販売で、売り上げは右肩上がりの成長企業です。今年2月には晴れてインキュベートを卒業し、挑戦の舞台を福井市内に移しました。事業の立ち上げと今後の展開について、代表取締役の天谷氏にお話を伺いました。

株式会社リホーム

HP: <http://www.rakuten.ne.jp/gold/diydiy/index.html>

所在地: 福井市城東4丁目4-18

電話番号: 0776-43-1680

資本金: 100万円

従業員数: 8名

事業内容: インテリア製造販売



ECの可能性にける 新商品開発への挑戦

「ご実家の経営するカーテンメーカーで経験を積んだ天谷氏は、以前から持っていたインテリア全体のコーディネートを提供したい、小売の世界で横に商品展開をしたいという思いを実現させるべく、当時37歳で創業を決意しました。「当初は実店舗を出すことも考えましたが、ECだからこそできる新しいやり方で全国を商圏に勝負したい」と思いました。まだまだネットでインテリア商材を買う風習がなかったため、周囲からは『カーテンがネットで売れるわけがない』とよく言われましたよ」

「現在は楽天、ヤフー、アマゾンそれぞれでショップを持つまでに成長し、ロールスクリーンやブラインドを中心に、カーテンや壁紙、ウォールステッカーなど幅広い展開を見せています。Web上でブラインドや壁紙の施工方法を動画で説明し、DIYに興味のある女性など、自宅をトータルにカスタマイズして楽しみたいというニーズを満たしています。オリジナル商品の開発にも

アイデアとやる気で 周囲の協力を得る

「これまで別々だった本社と倉庫を福井市内に統合させ、企業として一つステップアップした同社。今日の成功に早く到達できた一因が、創業当時の環境にあったといえます。福井県産業情報センターのインキュベートルームは、IT関係の創業間もない企業のための貸し事務所。創業時に入居していたメルिटを天谷氏はこう語ります。「まずは仕事の環境が整っていることがあります。余計なこ

福井県産業情報センターに 新しいビジネスの場が誕生！

ITベンチャーが集積する福井県産業情報センター7階に、自由にビジネスを創出する場「コワーキングスペース」が誕生。さらに3階のマルチメディアサポートセンターには、最新のポータブル映像制作システム「Tri Caster」が設置されました。

コワーキングスペース 自由なツナガリがビジネスを加速する



- ・フリーのインターネット環境、電源も自由に利用いただけるスペースです。
- ・個人で、グループで、システム開発、ミニ勉強会、異業種交流で…、活用方法はあなた次第！
- ・4月からは創業マネージャーが常駐。ビジネスの立ち上げをサポートします。
- ・自由につながるスペースから、新しいビジネスの種が生まれます。

- 利用日時：月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く）の午前9時～午後9時
- 利用方法：利用は自由です（グループ利用で事前に座席を確保したい方は、事前申請が必要です）

スタートアップエリアも併設 入居者募集中
創業・新事業展開を強力にバックアップします
【月額利用料】11,439円/室～

トライキャスター Tri Caster～ポータブル映像配信システム～ 番組制作からライブストリーミング映像配信までを手軽に

- ・コンパクトなシステムで、ライブ放送、セミナー、企業ビデオなど、さまざまなコンテンツ配信が可能です。
- ・経験がなくても安心！オペレーターがサポートします（無料、要予約）
- ・こんな番組が作れます！F-ACT連携の動画番組を試験配信中
→<http://www.fisc.jp/fact/>



例えば
こんな風に撮影した映像が



Tri Caster
で編集すると…

こんな番組に仕上がります！！

システム使用料：430円/h
例えば…午後4時間（場所代+設備使用料）使っても
たった7,990円
夜間だと、6,020円と超格安です

専門家が、創業支援や女性目線での相談に対応します。

上記でご紹介した情報センター7階のコワーキングスペースでは、ITを活用した創業予定者等を寄り添いながら支援する「創業マネージャー」を配置しました。また、同ビル3階の総合相談窓口には、中小企業診断士の資格を持つ女性のコーディネータも配置し、創業や女性をターゲットとした商品開発や販売戦略等に助言できる体制を整えました。いずれもご相談は無料です。お気軽にご連絡ください。

《創業マネージャー》

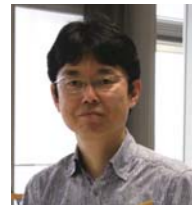


加藤 永俊氏 (写真上)
(加藤中小企業診断士事務所 所長)

森川 徹志氏 (写真下)
(株式会社カウベルコーポレーション 代表取締役)

原則として月14日、午後1時～午後9時
ITを活用した創業や新事業展開に関する相談等に対応いたします。

【お問い合わせ先】
(公財)ふくい産業支援センター
販路開拓支援部 創業・Eビジネス支援グループ 大木
TEL：0776-67-7416



《創業・新事業コーディネータ（女性）》



第2、第4水曜日担当
※月により変更になる場合があります。

藤野 恵子氏
(オフィス スプリングA代表 中小企業診断士)
創業や女性をターゲットとした商品開発等
をお考えの方にお勧めです。

◎別途、ふくい女性活躍支援センター(ユウ・アイふくい2階)に女性専用の創業相談窓口(第1火曜日、第3土曜日)を開設します。

※無料。事前にご連絡ください。《0776-41-4244》

No.01

今月の社是

「もっと楽しく」

取材先で編集者の目に留まった「社是」「社訓」「社訓」「経営理念」をご紹介する新コーナー。ここからは企業の考えはもちろん、その会社の「色」や「空気感」まで伝わってくることもあります。



カーテンなどインテリア商品のインターネット販売で売り上げを伸ばす(株)リホーム。「結婚新築など、人生のハレの場面とつながりの深い業界」と話す代表取締役の天谷成作氏。インターネットやDIYを通じて生活をもっと楽しくするお手伝いをするためには、提案する社員も楽しく生活をしなければ、との考えから、この経営理念にたどり着いたとのこと。それを実行するための行動指針「JPAGOS」は天谷氏が発案しました。とあるセミナーの中で、デイズニードのスタッフは幸せそうに生き活きと働いているのは、行動指針が浸透していることが大きいと学んだことをきっかけに、覚えやすいよう心掛け、4つの言葉の頭文字をつなげたといいます。社員の平均年齢が28歳と若さが魅力の同社。若手社員にもこの経営理念と行動指針は浸透していると話す天谷氏。三方良しの正しい判断をもとに、情熱を持って1つのゴールに向かいスピードをもって行動する。若い勢いが同社の経営を飛躍させそうです。

本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう!

企業情報メール便

販路開拓のチャンス!
本誌にチラシを同封できます



本誌では、企業情報メール便(チラシ同封サービス)を毎号実施いたします。配送先は、県内事業所約2,200社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか?

●料金

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
A4判以下のチラシ	8,400円
A4判超～A3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	12,600円
A4判以下のパンフレット(10ページ程度まで) ※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。	16,800円

●次回実施号
VOL.13 6月25日発行予定
チラシ提出締切日:6月19日(金)
チラシ2,200部をご提出
(持参または配送)ください。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。

1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT編集室
TEL:0776-67-7414 e-mail:kouhou-g@fisc.jp

福井県からのお知らせ

自動車税の納期限は6月1日(月)です。

納期限までに納めましょう!!

身体に障害のある方が所有する自動車等については、自動車税が減免になる場合があります。
その場合には納期限までに手続きを済ませてください。



コンビニでも納税できます!!

これらのコンビニであれば、原則として24時間
全国どこでも土曜・日曜・祝日でも納付が可能です。



【利用できるコンビニ】
エブリワン/くらしハウス/ココストア/コミュニティ・ストア/サークルK/サンクス/スリーエイト/スリーエフ/生活彩家/セーブオン/セブンイレブン/デイリーヤマザキ/ニューヤマザキデイリーストア/ファミリーマート/ポプラ/ミニストップ/ヤマザキスペシャルパートナーショップ/ヤマザキデイリーストア/ローソン (50音順)

<お問い合わせ先> 福井県税務所 TEL(0776)21-8274
嶺南振興局税務部 TEL(0770)56-2223



本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター http://www.fisc.jp/
総務部 TEL:0776-67-7414/FAX:0776-67-7419/E-mail:kouhou-g@fisc.jp
〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

皆様の声をお聞かせ下さい!

「〇〇が面白かった、ためになった」、「△△をもう少し□□にしたらどうか」、「●●のテーマについて紹介して欲しい」、「▲▲会社がやっている■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

編集後記

新年度に入り、新コーナー「グッドデザインシンキング」、「今月の社是」と、2つの新コーナーが入ったF-ACT、いかがでしたでしょうか?

今回の特集は「福井の女性活躍」ということで、県内で活躍する様々なジャンルの女性や、女性の働きやすい環境づくりを考える経営者の方々にお話を聞きしてきました。私の家族や周囲を見渡しても、働いている女性が多く、家庭をお持ちの方も少なくありません。特集の冒頭で県立大学の塚本先生も仰っておられた、「仕事に家事にと、もう十分に頑張っている女性に対しキャリアアップまでを追求するのは無理がある。男性側の意識改革や、企業サイドの男性に向けた取り組みが必要」というご意見には、一男性として個人的に考えるところが大きかったです。自分にはできることは何なのか…。仕事や家庭の中で考えるきっかけになりました。皆様はいかがでしたでしょうか?

さて、20ページでもご紹介の通り、この春から当産業支援センターにも新しい施設や機器が誕生したり、専門家が配置されたりと、皆様のお役にたてる体制が以前に増して整っています。まずはぜひ、お気軽にご連絡ください。

新聞記事から集めた 県内企業の 新商品・新規事業

■収集期間:平成27年2月1日～平成27年3月31日

■収集対象:福井新聞、日刊県民福井、日本経済新聞、毎日新聞、朝日新聞

当支援センターが収集している新聞記事の中から、県内企業の新商品・新規事業に関する記事をピックアップしました。

【食料品・飲料】

俳人松尾芭蕉が敦賀を訪ねた際に見上げた月をイメージして作った和菓子「きれいじゃなあ」を発売。パッケージには、敦賀市公認キャラクターのバショさんと月のイラスト、芭蕉が敦賀の地で詠んだ句を記載。	御菓子処あさみ(敦賀市)
麦芽100%のビールに敦賀市の特産品「東浦みかん」の果汁を加えた爽やかな味わいのビール「914」を開発、販売を始めた。敦賀市の郵便番号の上3桁を商品名とし、ラベルにもみかん畑のイラストを採用し、さりげなく敦賀をPR。	ケセラセラーみやもと(敦賀市)
県立大学で誕生した福井県産小麦「ふくこむぎ」を使ったスナック菓子「えい坊チップス」を開発。胚芽を含んだこむぎの粉の生地を油で揚げ、しお味のチップスにした商品で、「インターナショナル・ギフト・ショー」に出品予定。	タクエツ(永平寺町)
県産アカガレイを使った漁師手作りの新商品「越前かれい酢漬け」を発売。鮮度にこだわり、マイナス40度で急速冷凍することで消費期限を180日まで延ばしたのが特徴。	福井県6次産業化推進会議 福丸ごじょーもん(越前町)
雪を使い商品を貯蔵する天然の冷蔵庫「雪室(ゆきむろ)」を建設。とんかつソースやドレッシングの原料となる野菜の貯蔵に使用。節電効果のほか、野菜を一定期間雪室に置くことで、味が良くなる低温熟成も可能に。	丸城清酢(大野市)

【繊維/衣服】

購入した洋服の着こなしをサイトで提案する事業「アクシズファム プロジェクト」に乗り出す。大学生のアイデアを活用したもので、商品にQRコードを記したカードを付け、スマートフォンなどで専用サイトを表示し、各店店長の提案が見られる仕組み。	アイジーイー(越前市)
廃炉作業で配管の切断などに使うレーザー光を遮る「レーザー遮光カーテン」を共同開発。4月以降に、敦賀市の新型転換炉「ふげん」の廃炉作業で使用し、カーテンの形や性能を確認しながら製品化を目指す。	ウラセ(鯖江市) 日本原子力研究開発機構
一般的な導電両面テープに比べて接触抵抗を10分の1から50分の1に抑えた極薄導電両面テープを開発した。低接触抵抗を実現し、スマートフォンやタブレット端末向けの電磁波対策材料として提案。	サーレン(福井市)

【金属/機械】

金属材料を精密加工するマシニングセンター2種類を発売。加工台が400ミリ角の機種では、自動車、医療産業などの市場へ進出を目指す。500ミリ角の商品は機能をコンパクトにまとめ、従来機より15%の省スペースを実現した。	松浦機械製作所(福井市)
---	--------------

【眼鏡】

つるが背骨のようにしなやかに曲がる金属製の眼鏡枠を開発した。独自の技術で、つるに幅と厚みをもたせられるようにしたのが特徴。開発したバネ構造「ロータースプリング」で特許出願中。	エクセル眼鏡(鯖江市)
チタンフレームを使った自社ブランド「monblue(モンブルー)」で、ろう付けを一切行わずに接合した新型モデルを開発・発売した。唯一残っていたブリッジのろう付けも廃止し、故障の原因となる「ろう離れ」を完全に排除したのが特徴。	三工光学(鯖江市)
放射線が物質に与える影響を、手軽に観察ができる実験用学校教材を開発。日本原子力研究開発機構の特許技術を活用し、放射線を照射することで強度が増す作用が理解できる。主に中学・高校向けに売り出す。	サンルックス(鯖江市)
福井赤十字病院(福井市)の藤井外科部長と連携し、胃や大腸などの腹腔鏡手術に臓器をつり上げるステンレス製小型クリップ「F」Clipを開発した。眼鏡の製造技術を生かし、強い把持力と、臓器を傷めない愛護性の特徴。	シャルマン(鯖江市)

【その他の製造業】

UHA味覚糖(大阪市)とコラボレーションし、米国のアーティスト、アンディ・ウォーホルの作品をデザインした漆箱を開発。限定30個で、1セット54万円と高額ながら注文が相次いでいる。	漆琳堂(鯖江市)
若手女性職人が企画開発した食器ブランド「OEM(ワン)」を発売。「朝ご飯を漆のワンプレートで」をコンセプトに、丸型プレート、円柱形スープカップ、箸、スプーンの4点で構成。漆器を使ったことがない年代の人たちにアピールを狙う。	土直漆器(鯖江市)
足首を動かさない人や、装具をつけている人向けに、長靴を履きやすく、おしゃれにする改造を事業化。既製の長靴を顧客から送付してもらい、改造して返送する仕組み。改造費は両足で5千円程度。	長尾製靴所(福井市)
牛肉のうまみを増す大型熟成庫の施工・販売事業に参入。国内メーカーはほとんどなく、レストランなどへ直販するほか、冷凍機メーカーを通じて全国販売を予定する。	ユナイテッド(坂井市)

【商業/サービス】

10年ぶりの改装を行い、リニューアルオープン。ドラッグストア「マツモトキヨシ」を誘致したほか、食品売り場「Aコープジェスタ」を増床。衣料品では「ファッションプラザヤサキ三國店」が新店。百円ショップ「セリア」も売り場面積を従来の約2倍に。	イーザ(坂井市)
TAYASU(福井市)と共同開発した店内器具「SAT」を使い、レジで商品を効率的に袋詰めできる仕掛けを開発。レジの通過時間を25%程度削減でき、満足感を高めるのが狙い。	ゲンキー(坂井市)
新たなプライベートブランド「リミテッドエディション・エリアモード」の売り場をオープン。30～40代女性をターゲットに、県内7伝統工芸の職人有志「七人の侍」の雑貨など、伝統工芸職人やメーカーと共同開発した商品、カジュアルファッションを展開する。	西武福井店(福井市)
洗濯物の受け渡しができるサービスを福井市内の店舗で開始。北陸3県では初。預け時は洗濯物を専用バッグに入れ、伝票や決済用のプライベートカードと共に専用棚に預け、引き取り時はカードで取り出せる仕組み。後継者不在の店や不採算店で導入を検討。	ジャパン(福井市)
女性の視点で福井県の観光ルートを提案する行員のチーム「ふくジェンヌ」を結成。幅広い年代の14人の女性行員を集め、年代や家族構成に合わせて観光プログラムを設定。同行のホームページ等で県内外に発信していく。	福井銀行(福井市)
エデュケーショナルネットワーク(EN、東京都)と業務提携し、小中学生向けのプログラミング教室の新サービス「ロボットアカデミー」を開始。自立型ロボットの動作を通して知識の習得を図るのが狙い。ENが各地の学習塾に対して導入を促進する。	アフレル(福井市)

【飲食】

飲食店の食中毒や感染症対策として除菌・抗菌効果が高いとされるオゾン水の販売を開始。液体の精製技術を持つ「YUZU電子」(福井市)が製法を確立。口の中に入れても無害で、肉や魚などの食材に直接吹きかけることもできる。	ベルペール(鯖江市)
--	------------

あなたの夢を応援します！

ふくしん

創業支援資金

福井信用金庫

《商品概要》

- ご利用いただける方
- お使いみち
- ご融資限度額
- ご融資期間
- ご融資形式
- ご返済方法
- ご融資利率

当金庫の営業地区内で新たな事業を6ヶ月以内に開始するか、または開始してから1年以内の法人または個人事業者

運転資金、設備資金

500万円以内（設備資金は当該所要資金の100%まで）

運転資金（7年以内）、設備資金（10年以内）

証書貸付

毎月元金均等返済または毎月元金均等返済（元金据置2年以内）

2.925%

変動金利（当金庫新長期プライムレートに連動する即時変動金利型）ご融資利率の見直し基準日は新長期プライムレートの変更日とし、前回基準日（借入後最初の変更の場合は借入日）における基準金利と変更日の基準金利の変動幅と同じ幅でご融資利率を変動します。

- 保証人

経営者以外の第三者保証人は原則として不要です。

・法人の場合・・・代表取締役

・個人事業者の場合・・・共同経営者の方は保証人となっていただけます。

※「経営者保証に関するガイドライン」（平成25年12月5日経営者保証に関するガイドライン研究会）に則り、誠実に対応するよう努めます。

- 担保

原則不要です。但し、申込内容により必要となる場合があります。

- 手数料

・契約締結時手数料 10,800円

・繰上完済および一部繰上返済 5,400円

・条件変更 32,400円

- その他

*お申込みに際しては、所定の審査をさせていただきます。結果によっては、ご希望に沿えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

*現在の融資利率やご返済の試算につきましては、当金庫の本支店までお問い合わせ下さい。

（平成27年4月1日現在）

店頭で説明書をご用意しております。

